

めざす姿

Ⅲ 誰も取り残されない社会

⑦

みんなが生きやすい地域

年齢、性別、障害の有無
国籍などに関わりなく
誰もが自分らしく
生きられる社会

例えば

- 異なる文化や価値観が共存する開かれた多文化社会になる
- 年齢に関わらず、みんなが生き生きと活動する
- 障害の有無に関わらず、すべての人が持てる力を発揮できる
- 性別に関わらず、誰もが自分らしく暮らせる
- 誰もが快適に過ごせるユニバーサルなまちづくりが進む

- 暮らしの中で多様な文化や価値観に触れる機会が増えています。対話を通じて異なる文化や価値観を持つ人への理解が深まり、他者を尊重し、意見の違う人の立場に立って考える力が育まれています。
- 新たな仕事への挑戦やボランティア活動、趣味、スポーツなど、年齢に関わらず、活動領域が狭まることなく、みんなが生き生きと活動しています。
- 学校では、障害の有無に関わらず一緒に学ぶことができます。ICTの活用や産業と福祉の連携などにより誰もが持てる力を発揮できる社会になっています。
- 年齢や障害の有無などに関わらず、誰もが気兼ねなく安心して旅行できる環境が整っています。
- 「SOGIE」の考え方が広がり、性の多様性への理解が深まっています。多様なあり方を支える環境が整い、性別に関わらず、誰もが自分らしく暮らせる社

- 会になっています。
- 長時間の労働から自由になり、身の回りの地域のことに関心を向ける人が増え、孤立している人がいないか気かけあう地域になっています。経済的な理由などで生きづらさを抱え、孤立しがちな人も、取り残されずに地域で支えられ、適切な支援を受ける中で、自分の役割を見出しています。
- 福祉のまちづくりで全国を先導し、誰もが困難を抱えることなく快適に過ごせるまちになっています。信頼性の高い情報が簡単に手に入ります。ユニバーサルデザインが隅々まで浸透し、すべての人の人権が尊重され、弱者を生まない社会になっています。
- 自治体は様々な主体が提供する公的なサービスのプラットフォームになり、住民は多様な選択肢の中から自分に合ったサービスを好きに選べます。

〈アクション例〉

- 地域にいる外国人と交流する機会を増やそう。
- 年を取っても、新しい活動に挑戦しよう。
- 障害の有無に関わらず一緒に学べる環境をつくろう。
- 当事者の声を聞いて、性の多様性への理解を深めよう。
- 多様な人の声をもとにユニバーサルなまちをつくろう。
- 人権について学び、互いを認め合う共生の心を育もう。

「SOGIE」という捉え方

人が持つ性の多様性を表す言葉でソジーと読みます。
①SO（Sexual Orientation：性的指向＝好きになる性別）②GI（Gender Identity：性自認＝自分の性の認識）③GE（Gender Expression：性表現＝服装や髪型、一人称等の性別に係る表現）の3要素の略称で、すべての人にそれぞれのSOGIEがあります。

地域に見守られながら
安心して子育てができ
多様な家族の形を
受け入れる社会

例えば

- 子どもの成長を社会全体で手厚く支援する
- 子育てを優先できる労働環境が整う
- 知り合いや地域の中で支え合う子育てが広がる
- 親子が集える広場や子どもたちの自由な遊び場がある
- 多様な家族と子育ての形が広がる

- 子育て・教育を家族任せにせず、社会全体で手厚く支援しています。質・量ともに充実した保育・教育サービスがあり、何人子どもを産んでも安心して育てていけます。若者が経済的な不安のために結婚や出産をあきらめなくて済む社会になっています。
- 結婚、出産、育児によりキャリアが途切れることはありません。継続的に安定した収入を得ることができ、経済的な不安を抱えることなく、社会の中で活躍しながら、子育てをすることができます。
- 子育てを優先できる労働環境が整っています。勤務形態や時間、場所などを自由に選べる働き方が広がり、ゆっくり子どもと向き合う時間を持てます。家族団らんの時間が増えています。

- 地域に子どもを見守る意識が広がり、地域の緩やかなつながりの中で子育て家庭が支えられています。知り合い同士の助け合いや共同保育の形も広がり、支え合う関係の中で、どんな家族も孤立することなく、安心して楽しく子育てができます。
- 身近な地域に親子が集える広場や子どもの自由な遊び場があります。地域の人たちが見守る中で、思い切り子どもたちが遊び、親同士も交流しています。
- 家族と子育ての形が多様化しています。里親や特別養子縁組の制度が広く受け入れられ、子どもたちは温かい家庭環境の中で安心して暮らしています。誰もが安心して子どもを持ち、育てることができ、家族形態の違いで不利益を受けることはありません。

<アクション例>

- 子育てしながらでもストレスなく働ける環境を作ろう。
- 家庭と学校以外の、子どもたちが安らげる居場所を地域に作ろう。例えば「子ども食堂」を立ち上げよう。
- 子育て中の親たちが気軽に集まれる場を立ち上げ、話し合ったり、支え合ったりする関係を作ろう。
- 子どもが安心して遊べる公園を作ろう。
- 多様な家族や子育ての形があることを学ぼう。

経済的安定が選択の分かれ道

子どもを持つかどうか、結婚するかどうか、その判断の分かれ目の一つに経済的安定という大きな問題があります。子どもにお金がかかりすぎることで、ますますその傾向が強まっています。子育てにおいて様々な外部サービスの活用が広がる中で、その負担をどう下げるかを社会全体で考える必要があります。

めざす姿

Ⅲ 誰も取り残されない社会

⑨

安心して長生きできる社会

充実した
医療・福祉サービスを受けられ
何歳まで生きても
安心な社会

例えば

- 生活習慣の改善が進み、健康寿命が伸びる
- 健康医療産業が集まり、最先端の医療が行われる医療先進地になる
- どこにいても切れ目のない医療・介護サービスを受けられる
- 困ったときに助け合える地域のネットワークがある
- 住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる

- 健康な身体を保つ意識が高まり、スポーツを楽しむ人が増えています。身体の機能を計測し、そのデータを生活の改善に活かす習慣が県民の間で定着し、平均寿命とともに健康寿命が伸びています。
- 健康医療産業の集積により兵庫が医療先進地になっています。個別化医療や先制医療が普及し、人工臓器などの再生医療も広がっています。所得格差などによる寿命の格差が生じない社会になっています。
- 在宅診療や充実した介護サービスを組み合わせ、どこにいても、身近な地域の中で切れ目のない安心の医療・介護サービスを受けることができます。
- 人生の最終段階の医療や過ごし方を自分の意思で選択できる環境が整い、本人の意思を尊重したケアが行

われています。

- 24時間対応の在宅介護サービスに加え、地域に見守りのネットワークがあり、困ったときに助け合えるつながりがあります。生活の課題に総合的に対応する社会福祉の仕組みが整い、どんな状況になっても住む場所に困ることもなく、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができます。
- 外出が難しい人も、ICTを使って人との交流や仕事ができ、社会に参加しています。介護ロボットやICTの普及により介護者の負担が軽減しています。
- 必要な医療、福祉サービスを受けることができ、何歳まで生きても安心な社会であり続けています。人生の晩年を静かに穏やかに過ごすことができます。

〈アクション例〉

- 毎日身体を動かそう。バイタルデータを記録しよう。
- 健康医療産業を兵庫全体の基幹産業に育てよう。
- 在宅診療が広がる仕組みをつくろう。
- 誰もが住み慣れた地域で安心してターミナルケアを受けられるよう地域のサポート体制を整えよう。
- 地域の中で見守りのネットワークを構築しよう。
- 介護分野の技術開発を兵庫から先導しよう。

「ベーシックサービス」という考え方

教育、医療、介護、障害者福祉の基本的サービスをすべての人に無償で提供する社会制度のことです。一定の現金をすべての人に給付するベーシックインカムより少ない財源で効果的な生活保障を行える方策として近年導入の可能性が議論されています。財源をどうするかが課題であるため、国民的議論を踏まえた検討が必要です。